

読んで、見て、わかる教科書

情報量の精選により紙面にメリハリを

編集の基本方針から目指します、「活動の流れの明確化」、「特別支援教育への対応」、「活動が見て取れる紙面」を実現するためには、本編の情報量を精選・見やすくし、低学年の子どもたちに無理なく見て取れるようにする必要があります。旧版（H23～H26 使用）で目指した「読んでわかる教科書」を見直し、「読んで、見て、わかる教科書」として内容を再構成しました。



AB判を利用したダイナミックな単元扉は単元導入に有効です。

上巻 P.50～51



上巻 P.54～55

本編内の情報は小単元タイトル（先生の投げかけ）、本文（子どもの思い）、キャラクターや子ども、先生イラストのセリフ（様々なヒントや例）、カードなど、内容に応じて整理し、効果的なものに絞って掲載しています。

また、各種コーナーを紙面右端に集め、メインとなる活動に集中できるようにしています。



しせんずかん

たんけん
ブック
4~33 ページ



いろいろな どんぐり



いろいろな「は」と「み」や「たね」



124

125

単に情報を削るのでなく、多様性の確保や詳しい資料の掲載には、
巻末資料やたんけんブックを有効活用しています。

上巻 P.124 ~ 125

教科書の全体構成

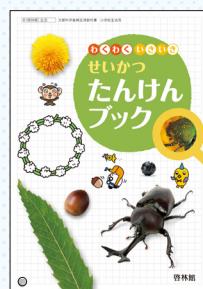
[上巻、別冊は1年生入学時に、下巻は1年生後期（9月）に供給されます。]

わくわく せいかつ 上



「学校と生活」をテーマに学校や遊び場で季節の移ろいと共に活動します。
(P.26 参照)

せいかつ たんけんブック 別冊



野外に特化した資料的教科書です。
(P.30 参照)

いきいき せいかつ 下



「地域と生活」をテーマに身近な地域で生活する人たちとかかわりを深めています。
(P.28 参照)